

「お盆」に 想 う

丁度「お盆」の時にこの原稿を書いています。
8月15日のつもりです。ところが今年は旧暦7
月15日は、新暦の8月26日になります。いつ頃
から月遅れ「お盆」として、8月15日を取りあ
げる様になったのでしょうか。

ところで、「お盆」，「帰郷」，「盆踊り」
と連想してきますと，会社商店の盆休みが定着
してきて，都心がガラ空きになる事と共に，日
本には，日本国民には故郷を慕う心がまだまだ
強いと思われます。

同時に8月15日は43回目の敗戦記念日でもあ
ります。各地で慰霊の行事も催されました。

最近のグルメばかり，旬の無くなった野菜，
世界各地からの珍しい果物等々飽食の時代を楽
しんでいるかに見えても，やはり戦中戦後の極
端な食糧欠乏の深刻さとその対応の為の激しい
農作業とは語りつかれているのではないでしょ
うか。ただ現実には，も早“二毛作”という言
葉も薄れてしまい休耕田もあちこちに見受けら
れるようになって，故郷－田舎－農家－農地，そ
して麦秋から田植え，真夏の太陽の下の生育期
の稲の緑という往時の風景も次第に遠いものにな
りつつあり，そして米価・麦価の切り下げの
実施，米の自由化さえも，とりあげられる時代
となると一層の農業変化は避けられないものと思
われます。然し地球上には飢餓に苦しむ人々
が今尚多い事を考えますと，食糧確保の為に狭
い国土をフルに活用し厳しい農作業を乗り越え
てきた道は懐旧の「語り草」にするだけでなく，
民族自活の為に，これからも歩まなければ
ならない道ではないのでしょうか。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事
塩野義製薬株式会社 動植物開発部長 瀬島基太郎〕

目 次

(第 22 卷 第 6 号)

巻 頭 言

「お盆」に想う…………… 1

＜(財)日本植物調節剤研究協会理事

塩野義製薬(株)動植物開発部長

瀬島基太郎＞

九州地方における一発処理剤の普及
に伴う問題点…………… 2

＜(財)日本植物調節剤研究協会理事

九州支部長 高岡留吉＞

エゾノギンギシの生態と防除法…………… 9

＜酪農学園大学酪農学科 村山三郎＞

ゴルフコースの芝生管理と…………… 17

雑草防除

＜東洋グリーン株式会社 柳 久＞

第13回国際植物生長物質会議に出席
して…………… 28

－1988年夏のカルガリー滞在異聞－

＜農業生物資源研究所 坂 齊＞

昭和62年度秋冬作芝生関係除草剤・
生育調節剤試験成績概要…………… 35

＜(財)日本植物調節剤研究協会

技術部＞

人 事 往 来…………… 40